

草津白根山における地磁気全磁力変化

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Kusatsu-Shirane Volcano

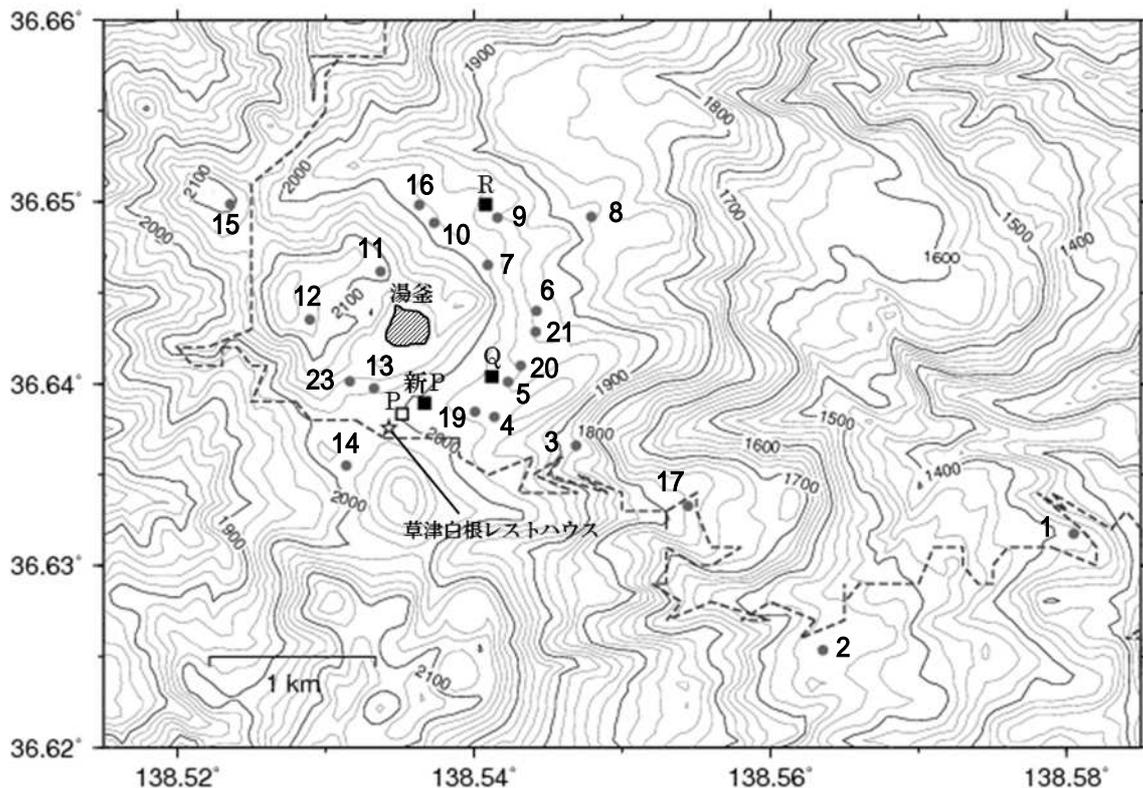
気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

第1図に草津白根山における全磁力連続観測点P、Q、Rおよび新P点と全磁力繰り返し観測点（観測点番号1から23）の配置図を示す。

第2図および第3図に、八ヶ岳地球電磁気観測所（東京大学地震研究所、草津白根山から南方約62 km）で観測された全磁力値を基準とした全磁力連続観測点の全磁力変化を示す。

1996年以降、湯釜近傍地下の岩石の再帯磁（冷却）によると考えられる全磁力変化（湯釜の南側の観測点で増加、北側で減少）が継続していたが、2014年5月頃から小規模な熱消磁によるとみられる変化に転じ、2014年7月頃からは停滞している。



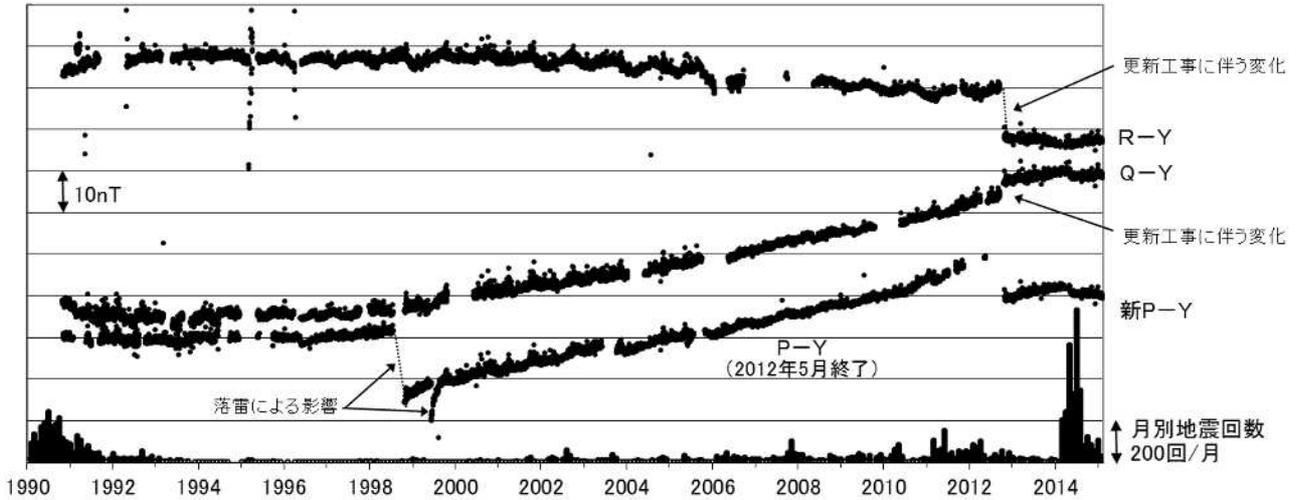
第1図 全磁力連続観測点（P、Q、Rおよび新P）および繰り返し観測点（番号1-23）の配置図。

この地図の作成には、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用した。

（承認番号 平23情使、第467号）

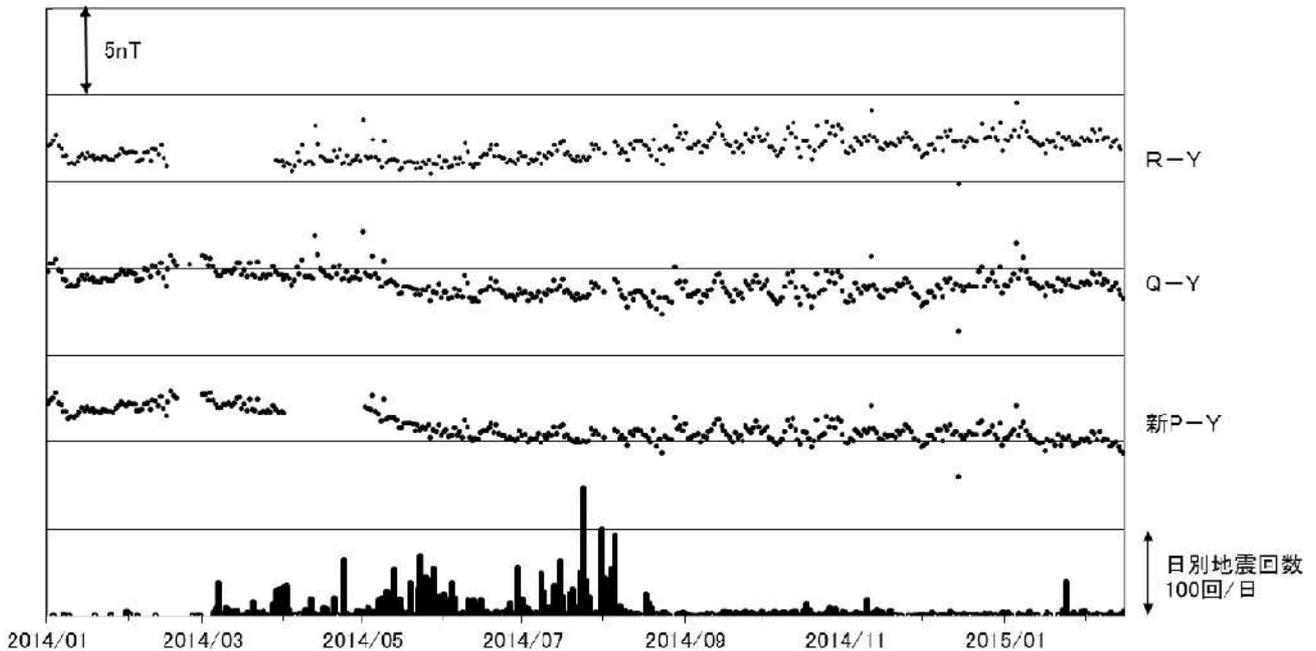
Fig.1 Location map of continuous (P, Q, R and Shin-P) and repeated (1-23) observation stations for geomagnetic total intensity.

* 2015年4月16日受付



第2図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び月別地震回数(1990年1月~2015年2月15日)。連続観測点P、Q、Rおよび新Pにおける八ヶ岳地球電磁気観測所(東京大学地震研究所)(Y)との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された月別地震回数を示す。

Fig.2 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations P, Q, R and Shin-P from January 1990 to 15 Feb 2015, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the monthly number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.



第3図 全磁力連続観測による全磁力値の変化及び日別地震回数(2014年1月~2015年2月15日)。連続観測点新P、QおよびRにおける八ヶ岳地球電磁気観測所(東京大学地震研究所)(Y)との全磁力の日平均値差。最下段に草津白根山で観測された日別地震回数を示す。

Fig.3 Temporal variation of the geomagnetic total intensity at the continuous observation stations Shin-P, Q and R from January 2014 to 15 Feb 2015, with reference to YAT(Y). The bar chart at the bottom of the panel denotes the daily number of the volcanic earthquakes at Kusatsu-Shirane volcano observed by JMA.